

さらなる飛躍のために

社団法人化について

県連時報130号で河野理事長より文書理事会・総会についてご報告いただきました。今回は、その中から宮崎県空手道連盟の一般社団法人化についてご説明したいと思います。

【現在の宮崎県空手道連盟は?】

(現在の宮崎県空手道連盟は任意団体です。)

任意団体とは、その名の通り「任意」で活動する団体のことで町内会などと同様となります。(法律が定めた法人格は持っていないため「権力能力なき社団」「人格のない社団」と呼ばれることもあります。)

社団とは、一定の目的をもって集まった人の結合である団体のことをいいます。

【法人化とは?】

法人とは、人間とまったく別の存在である法律上人格が認められたもののことをいいます。

県連を法人化すると県連の代表者である「人間(自然人といいます)」と法律上全く別の存在である「法人」ができることになります。県連を法人化した場合、各種契約行為について、個人で契約すべきものが県連名義で契約できるようになります。

【なぜ法人化が必要なの?】

当連盟は任意団体として51年間活動してまいりました。お陰様で今まで大きな問題は発生しておりませんが、今後、大きな問題が発生しないとも限りません。現在、社会環境の変化やリスクマネジメント等により各スポーツ団体が法人化を進めています。当連盟においても、事故発生時における対応や国体を控え会計規模拡大による会計透明化の必要性を考慮し今期法人化を進めることになりました。

【社団法人化メリット】

- 任意団体に比べ、社会的信用が高い。
- 公益性を持った団体と認知される。
- 法人として連盟名義で各種契約を行うことができる。
- 貸借対照表の公告を行うなど財務会計が明確となり、透明性が図れる。
- 基金や寄付を集めやすい。
- 会計の透明性が図れる。
- 事故等が起きた場合連盟が法人格を持っていれば連盟として責任をとることができる。※法人格を持っていないければ連盟代表者や指導者等個人が責任をとることになります。

【他団体の状況】

都道府県空手道連盟

東京都空手道連盟が一般社団法人となっているほか、九州では佐賀県スポーツ協会に加盟する団体は全て社団法人化することが義務付けられたため佐賀県空手道連盟が法人化に向け取り組んでいる。また、他県においても法人化を検討する流れがある。

宮崎県スポーツ協会加盟団体

(宮崎県体育協会から名称変更)

- 一般財団法人 宮崎陸上競技協会
 - 一般財団法人 宮崎県水泳連盟
 - 一般社団法人 宮崎県サッカー協会
 - 一般社団法人 宮崎県バスケットボール協会
 - NPO法人 宮崎県サーフィン連盟
- の5競技団体がすでに法人化されている。

【法人化のスケジュール】

- 7月 定款の作成
定款は組織の骨格で憲法のようなものです。当連盟では運営は規約に基づいて運営を行います。規約は法律のようなものです。
- 8月 法人基準の会計処理開始
- 11月 定款の理事会による承認
- 2021年1月 令和2年度理事会・総会(役員改選)
- 2021年4月 法人設立

宮崎県空手道連盟 事務局長 藤枝孝明

家庭での食中毒予防のポイント

①菌をつけない

【買い物・食材選び】

- ◎賞味期限を確認する①②
- ◎肉や魚などの生鮮食品や冷凍食品は最後に買う②
- ◎肉や魚などは汁が他の食品に付かないよう、分けてビニール袋に入れる①②
- ◎寄り道しないですぐ帰る②

【食材の保存】

- ◎帰宅したら生鮮食品はすぐに冷蔵庫にに入れる②
- ◎肉や魚は汁が他の食品に付かないよう、密材容器に入れり、ラップをかけて保存する①②
- ◎冷蔵庫内の温度が上がらないよう、冷蔵庫には詰め込み過ぎない②



【調理】

- ◎調理の前に丁寧に手を洗う①
- ◎食材は十分な流水で洗う①
- ◎肉や魚は、中心部の温度が75℃で1分間を目安に、十分加熱する。③

【食事】

- ◎食事の前は石鹸で手を洗う①
- ◎作った料理は長時間、常温で放置しない②
- ◎温かいものは温かいうちに、冷たいものは冷たいうちに食べる②



【残った食品の保存】

- ◎保存の作業前に手を洗う①
- ◎清潔な容器に保存する①
- ◎保存して時間が立ち過ぎたものは思い切って捨てる③



微笑四コマ漫画



作者：和Q

「はーい、編集局」

「やわしい悪魔」

和 Q 「あの人は悪魔く わたしをとりこにするよ」

フジオ氏 「先輩が悪魔やる。人のせいにしちゃいかんぞ。デビルカワノ！」

和 Q 「バシちゃんしようがない・・・って違うが、キャンディーズの歌やが。『やさしい悪魔』よ！」

フジオ氏 「もお歌よかったとな、な。独り言にしか聞こえなかったが、な」

和 Q 「うるせく。ところで今、なんかにはまって？」

フジオ氏 「先輩はいっつも、このパターンやな。俺は全く忙しいばかりで余裕がありません！」

和 Q 「なんや、なんや、そんな面白くねえ答えは。話がはずまんが」

上村氏 「ウオッホン！俺は不動産やね。しもじものおまえたちには関係ないやろけどね」

和 Q・フジオ氏 「・・・」

上村氏 「・・・って、だまんよ。何か質問はねつか？」

和 Q 「そら、いっちゃけど。こん前はすみません。昼飯のお誘いを断ってしまつて。ピザを焼いてくれるっちゃう話やつたですよ」

上村氏 「そうよ。ビールでも飲みながら、いろいろ語ろうと思つちよつたつよ。おまえがこれんって言うたかい。中止にしたが」

フジオ氏 「はんらんらんらん。おら何も聞いちよらんぞ！」

和 Q 「あんた忙しくてたまらんって、さっき言いよつたがね」

フジオ氏 「それとこれとは話が別よ。おらピザが食いてえく！この悪魔ども」

和 Q 「わかつた。わかつた。大きいピザを何枚も食わしてやるかい。機嫌をなおさない。ねえくカンムラ先輩」

上村氏 「そうよ・・・って俺がピザを作るっちゃうけど、まあ、フジオが喜ぶなら、この流れでOK！」

